

明
徐
文
行
石
集

911.3
八
下

八代御城

御城

御本丸大手門 大下馬 桜橋御櫓 平河口 金門

大名塙 朝鮮馬場

御上流馬場

吹上門 内門

少林橋 紅葉山口 代官町

安巖山口 巻全下馬腰掛

赤身肉の内門 板木門 金馬腰掛

あり

怪れを記すと皆知る所

板井戸 御曲輪の内門

あり

東あま屋の内門

あり

かづくじの内

吹本塙通

あり

かづくじの内

あり

吹本塙通

左葉桜門の内門

あり

馬頭門

西田舎

あり

馬頭門

右田舎

あり

馬頭門

千住上野奥州門

あり

馬頭門

千住下野奥州門

あり

馬頭門

千住上野奥州門

あり

馬頭門

あり

又の事は嘗て小車やも最初三事の方外骨

九

卷之三

卷之三

卷之三

東坡集

舞の舟まいのふね。赤坂あかさか。黄坂こなみざか。青坂せいざか。白坂しらざか。牛込町うしこまち。一夏坂いちかざか。牛込木町うしこぎまち。牛の糞橋うしのくずはし。

本多。八丁堀。出雲守中橋。主膳。中橋。主膳。大経町。東乃
町。主膳。大経町。東乃

西多連の宝毎散。白橋さきはしの通ひの青物屋。白魚屋浦しらうおや

三宿山城。林木川原。立賣町又本节うるを極す。尾張町。

中町名をも。雅店^{みやてん}、牛町^{うしちゆ}、石町^{いそまち}、中町^{なかまち}は草薙子^{くさなご}、最後店^{さいごてん}あり。毎年^{まいとし}夏^{なつ}甲子^{こうし}の市^{いち}ある。弓町^{ゆみまち}、矢師^{やし}

江原
具東町
規世中
令東屋浦
青毛有

新橋の高木と伊藤左之助と芝居入日

飯倉神乃宿 毎年九月

生糸布やう毛玉絹
中門市
の目金んをあくと金

鷹島の馬鹿貝附
三條山一寺宇本大禮堂
芝浦
御子神不
通之全事あり
僧寺寺
内一ノ
侍軍出伏良美等

中野、蘇、金松橋、浜田より久保の、因島神門天堂碑、清多より毎月寄
萬葉の爲め。

漁傷魚浦之役。雜與傷。每日裹布而行。瘡之而無痕。瘡之而無痕。

延生床
れの过
田町早良
待合室
反魂丹
大原年吉著
高輪
大原年吉著

八山_{高入江の山也。主に高麗。}、西川_{高麗}、

東海寺

萬達集之。澤衛壽。高貴臺九拜。元和。元和。觀音堂。

上 茂川さとひで
下 おひのをひ

南洋名也。謂之海中之山也。

あそぢうぐ一斗。荒蕪の瘡ウツラ。草木の一株。
宿大閑トシタケン。

一
給の來往

瑞。八幡宮。大森

和中敵名稱丁巳隨牛

毛價多々あり。如支稿多々。六月
麦々御名物。

川喜

五次萬万年古今事。初
其外多矣。多一。大師何尔。是

同寺の江戸幕府。根
在り候乍らも。根

後陽り春工社。生麦。鷦尼名物

。本牧傳をもとより今
の本牧のことを取つての用

夷。矢口。新田大河神

社教員の支拂ふを故に

先生在後竹林有之。又序之曰。當歲之暮。雷止觀音堂。

鴻臚。從女嫁女

。大佛
立木の後は、
達人扶桑を尊遠。比上本門寺

日蓮大師の元家風の想ひ
奇く「ふたり事や多」

月里不動^{ムツノシテ}泰^{タケ}叢^{クモリ}山^{ヤマ}曉^{アサヒ}又^{アシタ}南^{ミナミ}山^{ヤマ}

山伏驛山中多金門不就

西の久保村。天徳寺。淨空小僧。見坂。理化。寧南坂。留代蓮多。山王土星野。中村重翁。水門外林。益田貞良。新昌善。有山善美。信房。李鉄基。道。十。領。多谷。又多林。有志。有保。有柳。有名。王門の里。二ノ浦。大根。難。有村。注大根の仕事。通の口。御社の象と。安藤。有柳。

井をば里人ふる縁ゆれ林とまき。天王寺資材倉庫百石の町
緒西から東北まで大阪ひん。天王寺は伊達守有北兵庫道地
をもぢ。千日谷若狭の山か田畠供出せし。りひとよ。夫婦坂信吉。ひら
矢易寺佐治の山の山。内裏高入。侍馬丁本家。かじらる。
七町有角若狭の山。侍馬丁の通。非賣事木下千代
室。又大井金井ももえ。情熱愛もえ。珍松公浦木。通女
もく門田殿もす。善谷土官文政源。竹かと。八王子。十二
才媛沙織の花。中谷不動院。其井也。傳。十二
禁神社。御。堀之内。作。寺の草庵。小。住。同人。御。御。御。御。

卷之三

情。但。先。使。其。事。不。成。其。事。不。成。七。而。反。
相。如。接。被。者。又。不。可。也。接。被。者。通。被。下。相。是。根。津。社。
內。勤。精。之。《後。門。南。社。表。》。軍。家。之。事。其。事。不。成。
名。綠。神。持。寺。法。寺。不。通。之。寺。持。寺。寺。持。寺。

。天澤山 遠字之海毛は室屋と類有保多々寺也。天滿宮の莊

さう山内上芝居高鳥水玉座遠眼鏡也。天亞西寺 侵までげん比年五
年を蚕糸を貯御か付あり揚ら仰多。天亞西寺 僧頂修せぬ舊也
大根畠 不良石。本鄉 俗名。追多道年の行道。本食寺

志向すらふ三重塔。神田明神の社相を御を奉被九月十日音詔年

正門あり銀青松。神田明神の社相を御を奉被九月十日音詔年

小僧寺（黒門表）仁王（白いが四福）保墨（再建）清水門等
田宮場（今より）守有（守有）雖（ても）正院（あん）本堂金正月福等
半官山門手の所金有（谷中）は主計事とされ様あり山園の林に桂木
ゆゑとせらす事と通まば又山因之を金を多と仰めども其を禁し香火
の為す延喜の事生出（トシ）門重坂門（坂を）面教師五種（五種）行と月毎
圓（月）毎月晦（晦）月連月（月）月晦（晦）を後後度（度）执行あり又七月三十日十月二十日延眼堂
立宮御事備（事備）。二橋（二橋）南門が舊出路。山下（山下）少々九箇地（九箇地）一程
是成橋（成橋）。三橋（三橋）有（有）三橋也。御前御道下（下）少々居陣（居陣）御御道
又々多事。佛店（佛店）報之多至。平谷（平谷）皆の源也。三牧橋（三牧橋）山の下
席も多事。佛店名知。又御道也。此橋也。御成街道（上野裏手の道）和泉橋（和泉橋）
御道也。此橋也。御道也。御道也。御道也。御道也。御道也。御道也。御道也。御道也。
春堂寺屋敷也。向也。橋外也。御道也。御道也。御道也。御道也。御道也。御道也。御道也。
先封店（自開眼通）佛有長慶。廣德寺（足見）千倉細馬社堂乃
り。大先（黄人室）通夫の生子也。堂前（出子）三間堂。燈明寺（信州臺
門）有。清水寺。新姫（屋宇）。東小御堂（東預寺輪番）。又御道也。
國名也。報恩寺（報恩寺）。報恩寺人老の像。折丘頭寺（津井家）。ちくいんド
國家神山。云々。皆御神皆御神。三鴻神。極寺。山内。大輪寺
之岐の道場。山内。神田の社。行廟。延喜。行廟。神社。食糧の駒取堂
重て有。其れの事。行。飯行。神社。著。行。駒取堂。大輪寺。山内。行。

町から来る者もうちへ此をこの名和 大佛縁拘把の他處や萬千種類のものと云
作り奉らましと川底白山主と云ふと大島の御加佐

廣小路 ひろこうじ 文内寺 ぶんないじ と山門 さんもん 無間 むげん 順福寺 じゅふじ 額全紙山 がくぜんしやま 游草寺 ゆうそうじ の奥門 おくもん 雨田風神門 あめだふうしんもん 異乎四面佛 いよしりょうぶつ 也毛子の

庚小路 女川寺へ通ずる最初の門。額金龍山源草寺の奥門也。
庚小路 今から左折する所。雨田風神門。是より内雨側は左を下りて右の

額金龍山濱草寺の惣門東
是より内兩側保立少事との

東洋初教導本丸辰之。傳法院規音の御事よりある山配下後多きの小奇
文宣院宮家名跡。傳法院立伏事多幸嘉吉委く御事主不違

傳法院規旨の御事よりあはれ山配下後金との小奇
々室帳坐定家名跡

山配下後之の小青
一色青り妻に足らず不違

復 体度御のすなば。馬道 常徳も博道。居間系屋 定兵とよ
高木家

復 体後御のすなば。馬道 背後を傳す道。宿間 索屋 宿舎をさす。
宿間 索屋 宿舎をさす。

仁王門。西の宮櫓焉。因累比祀。奉年肉像。儒佛。至明教育の
事三經旨

像。儒佛。空洞寂寞の
像三極者。

老女辨財天 又稱多母天也。系小字。觀音堂。供多壽之年。至十八歲。

老女辨財天又彌勒天も奉坐。觀音堂

丁巳仲夏
金壇山
丁巳仲夏
金壇山
降自東南
十步居高
仰望天柱峰
其高
不可攀
又南
一水貫穿
其南
有山
名金壇
山者

中華書局影印
宋人集

それゆくの高きより
五重の塔ご ちよ ふ
（僧馬堂高知）（般若）（法華）（宝光）
（宝光院）（般若）（念佛堂）（宝光院）（圓通堂）

れの高さより 五重の塔 （鶴馬堂高さ五段塔） は室主在院へ十社官
主奉仕の塔 （鶴馬堂高さ五段塔） は室主在院へ十社官

庚午社金天社金太神賓
金玉神金興倉神馬
行夏三月六日春之合
其外畫堂小土石耳
是日高一丈四尺

清修社今奉天社今太神宮合廟今主神金與倉神御馬行吏三月六日有大祭事
其外北堂小土石早出名乃西之西門一葉葉高一丈

五月大旦社の神靈坐るを願ひ詫書を申す。同九日幕中から土月七日大日寺市から
源氏馬内より南化田主より群集金があたる。又次第有りて御子と御母と御子と御母と
皆を食ひ允而御子と御母脹ら或御子の趙慶を以てとし者あれ。神と体を以て
雷神門の御子と御母を以てとし底高帝の肉灵体を以てとし其子あまとヒ
涅槃門と名す。是の事なり。又太神官。日音院と云ふ。御子院の門上
立たせ。其子院と云ふ。又とばりえは。御子院の門上
馬代繪馬。高麗え信者も等を祭る。御子院と云ふ。御子院と
御子院と云ふ。又とばりえは。馬代繪馬。

二月七日大日寺市
人有の事堆とひゆく
著衣と拂と拂と拂と
人衣と拂と拂と拂と
拂と拂と拂と拂と拂と

通身門、南寺の裏門也。薦陀羅堂、燒火代りのあは石室も

一の権現、夢堂と云ひ音出の余院、切妻茅葺の中高と

山門、ハナモツ

山門の入處、石龜の龜也。寺有古御城を有す。

山の高處、侍乳山、空き處也。

耶矣の山、足も廻らず三面の内也。隅田、名高り諸所より下りて坐る

まほ山と云ふ。川筋傍あ政房殿雅。

足立山と云ふ。又北の山岸、宮下川、内河の西岸也。

多毛山、寺有古御城を有す。

猪塚、山名也。猪塚山、猪塚山也。

猪塚山、山名也。猪塚山也。

○小塚原町おとねらわち。天王社てんのうしゃ。大檜おひの。茶
裁場さむら。毎日七物まいにちしちもの。掃部宿そらべしゆく。永住宿えいじゅしゆく。奥州おくしま。然野社ぜんのしゃ

著者。真崎福行。著者の林ももえ。文庫を書の側より出でてゐる。文庫を書の田舎者と見えて、又

船橋川傳通。徳泉寺。大门の松並木。凌霄が原。

高倉天皇御代歌
新羅王
母公の臣のゆゑ
院が化物の
姿と云
衣冠御采女歌

。玉猪稻荷社。鬼牛馬。新島越前。山谷町奥引。持佛

山谷寺町日邊家の寺内秋山慈雲と云。今戸の風呂師百八十人。又京の湯石塔と今戸小堂より時どある者約百人有。

上手。有電 成之助毎ニ禁う おとこ 高木太一郎の里俗 おとこ 吉媛橋 本名大川 おとこ 柳原町通 おとこ

うす音近風搖くれば。御本藏。桂園の細葉。山廻河岸。唐再
活も甚す。佳木青々也。

もんが
八幡宮 宝鏡寺の草山にての石碑。名跡序不詳。天王松迎事。元
徳年間あると云ふ。

ト類座浦 本井處の原野也。まつり。佛也。

但本の 田舎の山と木立の外れにて、佛也。
舟居也。佃島 湿原也。仁喜寺神社 神の御子の元の持主也。

御堂 田中村の西門下。寒川橋 士月下を渡。仁樂代御堂 西原村の

末女 本原 早見の御子也。本挽町 本日は莫事也。沙浦和の名
揚らう也。

茅場の上の名也。石川源(巻五よしもとひでゆき)。演御殿(監軍也)。深川(後藤)久利(水代也)
三枝町(橘子よし子皆ての名也)。又深川(源高)。伊舟藏(糸井のいとうぞう)。少羽屋(少羽屋のすみや)。浪花屋(浪花屋のるなや)。割若

木の水代新地(水代新地のすみち)。在湯(新古の)。一の鳥(鳥のすみち)。富貴屋(富貴屋のすみきや)

久之年。仲町(中町)。表樽裏樽(表樽裏樽のすみや)。大鷦町(鷦町)。蛇町(蛇町)

見立(見立)。枕庫(枕庫のすみや)。仙基(仙基のすみや)。油船(油船のすみや)。油人(油人)

千鶴場(千鶴場のすみや)。新佃(新佃のすみや)。蛭子宮(蛭子宮のすみや)。富原(富原のすみや)。惣

利南(南のすみや)。正丸(正丸のすみや)。音商(音商のすみや)。水代(水代のすみや)。富多(富多のすみや)。
あゆ(あゆのすみや)。入海(入海のすみや)。書(書のすみや)。木(木のすみや)。水(水のすみや)。水代(水代のすみや)。毛

つ(つ)。あゆ(あゆのすみや)。山(山のすみや)。船(船のすみや)。猪(猪のすみや)。奥(奥のすみや)。二軒(二軒のすみや)。木(木のすみや)。山(山のすみや)。木(木のすみや)。使(使のすみや)。舟(舟のすみや)。野(野のすみや)。又面(面のすみや)。佛(佛のすみや)。勅(勅のすみや)

角(角のすみや)。真跡(真跡のすみや)。流(流のすみや)。下(下のすみや)。屏風(屏風のすみや)。門(門のすみや)。外(外のすみや)。

蟹(蟹のすみや)。社(社のすみや)。柳(柳のすみや)。里(里のすみや)。お(おのすみや)。大(大のすみや)。久(久のすみや)。入(入のすみや)。舟(舟のすみや)。天(天のすみや)

今(今)。再(再)。遠(遠)。リ(リ)。休(休)。今(今)。の(の)。房(房)。今(今)。の(の)。房(房)。

。扁鵲舊本作。行伍舊本作。每旦見一太鳴。今坐極舊本作。小名東門候。又

寺町御宿。日蓮宗方今式。應亞嚴寺。津古寺。檀林院。

境内火。最初原は猿。鼻、耳、尻、尾の毛が
糞傷官。最初原は猿。鼻、耳、尻、尾の毛が
糞傷官。最初原は猿。鼻、耳、尻、尾の毛が

新帝清早、御内閣の儀。神明宮、大嘗上幸。桂子移入。

當面監町主事より御下さる安宅を以て院
金の附屬する今度の内に於て是と申す

福富年財大。立橋舊字系作。大傳院轄山。廻覧

堂參龜堂地藏堂△彌佛△馬頭觀音△吉觀音△歸命△毘盧天子△彌勒△

勢利底也。蓋因流而
得之。金丹生乎此也。故曰。金丹者。水火之真氣也。

事もあれば草花市主。駒角橋。雲隠川。さすがに一色高
文部省の社員である。

おのきアリ
今が主事要
半世紀も前
雅也生浦
森の鳥居の
森の大きさ
萬葉歌傳
古文書考

。按山

又里とも。草木も。松の木も。大我井の木も。

。経虫は山とも。

。ちの。秋虎鳥集も。紅葉も。大座我弟も。二保川

。立野

。鳥の下さ。弱牧牛も。大座我弟も。二保川

。立野

。冰川。鶴。箱の池。小崎の池。永田の里

。當圓名社

。寫

。根岸

。高田小所。破臺。角田川。喰

。谷。各々。松

。

。木能

。高田小所。破臺。角田川。喰

。谷。各々。松

。

。目白川

。月

。雪

。向日。牛角。

。

。西山

。砂村

。大根

。夏大根

。

。芋茎

。芋山

。自然薯

。薯蕷

。

。四友

。覆盆子園

。接草

。佛手柑

。

。鰐

。鮎

。鰐

。鮎

。

。鰐

。鮎

。鰐

。鮎

。

。張

。燕

。燕

。燕

。

。支

。ア

。名所

。四季子。假雜志。國の部

。梅

。梅

。梅

。

（

伊豆守傳子一二の榜の船あケ
本母まへサ紙のうきてや涼舟
夏秋や赤も運賃の何番日
卯ノ那や池上も寄り立
明日や富士山よりと駕籠町
早稲の前や田中の庵の人夫
夢や浦舟を鼓うてまうけ
をもくわや氣比の波坐船をし
げテテす小島川底にゆか人
野崎村より田舎者ハニ瑞
リテ御身都至りて路をく
西を走る船を曳き度々御
舟を走らんと裏打ち船をけ
りかへりかへりかへりかへり
船見物や舟も般舟もすりき
手取川下小判一あく引くと
浦舟の下りみち印旛舟
舟うち伏木や白戸橋日本橋
初うそを走る通り禁禁
夕立や風波うちうの神うち
早稲田や船屋出でれぬ
今ト格子の入うり佛の
揚全歩く大門を出でる秋
京町の指うるむす利場至丁
却くす幡拿舟買とすと
江戸一の鶴をめぐらし
开戸のまゝ強あす一泊のえひ

其角

柳居

尚白

百明

素誠

其角

蒼松

其角

曉星

多磨

其角

萬太

老乳

其角

若松

其角

津浦

其角

白雲

其角

義成

其角

寶馬

秋色

根岸
川

明乃公生ふる川や圓乃すら
多仙や浮舟小修乃もまく被

曠臺
常規

小町乃葱波川や萩波月
佛乃や寺山備千子あ翁上隱

史邦

先朝季々名利之等傳
實買すすり十月廿日

竹

さき一郎三日の入院す年をうそ

山城

さうとほほたうりおと萬士の雪

立志

武松郎のちやんがん法もか
じう一郎やゆの意のうけとめ

其角

血えや此二丁うち明乃來

素人

伊豆船やアーティス船を岩寫

寫行

翁事化仙の唱へ初見ん豈誰風

百萬

さの四ツ手佐乃ハツヤニミシ志

松

勝玉乃り鷹乃れ利口里四才

雄跡

川へ一枝すうや鉢乃前

梁山

少佐花に圓次がくわ船客のと云

宿而

世の子半や船客を送ひの童アモ

五健

浦附川多あも余立きをひうね

其角

いだうすやうこと心放く内やま

室馬

少り人の津筋すえゆる花火外

寛之

歌舟を散そよ一夕の轟大、ね

蒼松

武姫郎や月乃示北若木九

在巣

葛入や波ノ子みく、其乃

涼山

やふ入石花すれ共、若ぬうす

琴風

白鳥子とあわづせむこも

金城

三太の裡くわすとゆ喜乃

仙化

仁戸城を守る花よ角地の船を鼓
あ相母北をくもすらうけにテ、あ
あうだやすく彼の上のをきみ采
はるノヤシリヤモアリ御の山あく
清きぬれ石井よくや一桟モ
舞音のうちふ波松や花つう季
有うや國釋まく太鼓時も
以も能うむすう子の志が前待氣
朝うとやめ子の志が前待氣

戸城を斗南花の角地の觸立鼓
か招舟北きくも身多けにテ、南
はうやく、彼の上のをみせ、采
はすやく、間の山あく、
はく、おとせよく、や一松を
静音のうちひ設松下、名へ、年
ちるぞ、國輝、まう太鼓、時も
朝うどや、彦子のあら辰、待氣山
以て、佐々木、千代、子の、松、不見く
ゆくこと、一枝、さく、ほる、よ
ト野、たる、花、多、やく、武、氣、山、
前、あ、す、彦、北、野、の、道、入、
不思や、蓮れ、生、糸、不、立、廢、事
事の、事、紀、冷、事、化、

山南連之在都
崇陽橫川橘
其角高光
至處具角
呼水石波
亮之正秀

越後今乃村 美空店舗をき
本町や向ひあつて居候
初セラ居る處をうへて庵の
望せり是れの軒端に改め
官解してあると云ふ事も
有りてゐるを此端より足
海苔は女何と云ふ
着てアゲラ大為ち然ひすれ候の
萬代衣や而の萬代のやうに
格好ア萬代を以り舟にて
きゆくにあたるを武士よし
昌川底をり半身一休ノ稀乃の
子モ一休や矣其もアモ休 両
家の如き一郎を生み立つの子李

王重

王
然谷北邊上半之御一ノ義
五番亭子の上やわらか傳書
湯漬食ふ庫裏乃ちんまや家古多
芝浦やりひなけ渡次のをすこし
れども立石のれはめよれゆ
政事くふをさせ摩と牛うなき
寺りくも般若湯もゆく
白毫もあふ遊ふたが山やとく川
沙羅木葉不つさ幕り一聖蘿葡萄
松風の陰を重りあゆきは
御林やまと花びらはる大寺
多は川や歩くよもほのまく
許
佐原
冬雷
集
乙丹
聖
新
松
赤
東仲
東令
故朱
孫下

李公尚書詩集序。書於元和丙子年。時年七十有二。故名那年。

九十九里又自東行九里
不食不施不取惟每城之西

○^ト 槻 每年八月第三。○^ト 槻 之のれに傳來。墨色也。

小田原城。古伊豆守。伊豫守。赤穂守。秀吉。朝倉。牛若。管領。

१०५४ विष्णु विष्णु विष्णु विष्णु विष्णु विष्णु विष्णु विष्णु विष्णु विष्णु

朝鮮の内政外事は、又はその關係者。惟えども、兩正使は其の外事

卷之三

運の音ノ鶴ノ下山タクノ御
之御子本多守ゆササキモニ
解毎朝弘とや小田喜也傳

下総古房十一都千葉郡印幡郡通泥郡相馬郡
植生郡佐倉城葛羅郡猿島郡撫嶋郡海上郡春取郡
豊田郡小見川上胡我傳飯沼弘達等坂東木郡伊豆郡
多賀陣佐實上

御内閣文書館所蔵
大正十二年九月二日
御内閣文書館所蔵
大正十二年九月二日

支那の句で日本酒の詩

多谢了，将金门努力抬一抬，好个孝子。

古今名所の向季混雜南國の部

傳毛奥ニ取扱基本ニ就キ之子
初蛙 火ノ石 玄石ニ就キ

。義仲寺

義仲の塔。お出の瀬古放。大津入谷村。名跡付。

御は度々細見え。又相後急種城をゆう等柄櫻井すより
もなみ入。○達坂山

又相後急種城をゆう等柄櫻井すより
もなみ入。○達坂山

松の道三筋。石清水。竈本松。園の清水。達坂の社。走井の水
吉井川。夏の秋むらねきらね野。

滝めゆ。又川附。山火。○ト大言。近はと城。園寺

小町の東。二井寺。墨城寺

滝曲五。

月附。山火。

○ト大言の先。

龍宮。大音。七月十五日女人年詣と云。千園子の明神。鬼母母也。石山寺

御れ焼持。七月十五日女人年詣と云。千園子の明神。鬼母母也。石山寺

観音。靈場。岡山の西。有志の業。寺山の舊い。是成物。傳。伏見守。又高野山
名。高野山。高野山。○ト大音。石谷川。○ト大音。高野山。又高野山。

○ト大音。

。志賀の浦。名。西田鶴。め人。あり。○志賀の宮。善。よし。り。や。

。花園の里。鷺。鳥。志賀。寺。幸崎。里。浦。社。○松。堅。田。浦。湖。水
ひが。木。鳥。鳥。鳥。○浮。浦。寺。在。原。○竹。生。鳥。湖。生。鳥。鳥。天

。○竹。生。鳥。○浮。浦。寺。在。原。○竹。生。鳥。鳥。天

。○竹。生。鳥。○浮。浦。寺。在。原。○竹。生。鳥。鳥。天
。○竹。生。鳥。○浮。浦。寺。在。原。○竹。生。鳥。鳥。天

。○竹。生。鳥。○浮。浦。寺。在。原。○竹。生。鳥。鳥。天
。○竹。生。鳥。○浮。浦。寺。在。原。○竹。生。鳥。鳥。天

。○延。脛。寺。傳。教。大。師。○ハ。王。子。象。十。津。名。○比。良。の。山。○家。孫。

○延。脣。寺。傳。教。大。師。○ハ。王。子。象。十。津。名。○比。良。の。山。○家。孫。

。○根。尾。山。風。い。の。裏。寺。○ヒ。ク。ア。ロ。ト。ヤ。ア。ゲ。ル。○雪。雲。合。岸。三。座。志。安。○白。蛇。の。社。高。野。山。○鷹。寺。丈。木。道。信。

。○根。尾。山。風。い。の。裏。寺。○ヒ。ク。ア。ロ。ト。ヤ。ア。ゲ。ル。○雪。雲。合。岸。三。座。志。安。○白。蛇。の。社。高。野。山。○鷹。寺。丈。木。道。信。

。○根。尾。山。風。い。の。裏。寺。○ヒ。ク。ア。ロ。ト。ヤ。ア。ゲ。ル。○雪。雲。合。岸。三。座。志。安。○白。蛇。の。社。高。野。山。○鷹。寺。丈。木。道。信。

。○根。尾。山。風。い。の。裏。寺。○ヒ。ク。ア。ロ。ト。ヤ。ア。ゲ。ル。○雪。雲。合。岸。三。座。志。安。○白。蛇。の。社。高。野。山。○鷹。寺。丈。木。道。信。

山上山。花植の里。矢橋の湯。御内の大手の口。奥山も
追加。徐高山。草の名様。伊香山。板倉山。山石根山。奥多良
波母山。半山。中美津姫山。音高山。小野山。神山
神倉山。横田山。鷲尾山。板木を被。山の緒。柳原を狭
玉松山。谷上山。田代山。五紅葉。高見山。松もお歴。高
湯産山。梅原山。大倉山。里山。大滝山。多摩山。藤生山
嵩。紅糸。細石山。桜山。東山。增山。瑞津山。津又里

白月山

梅雪庵 紫雲山

首寧山

紫雲山

首寧山

紫雲山

青木

梅雪庵

首寧山

紫雲山

首寧山

紫雲山

東の名前。向四季。漫遊南園の部

伊豆の佐々木。や伊豆の佐々木。文草
日枝の根。アリの木。往來。丈波
毛の日やああれ時もすゆ。人。所人
毛の日えふく。雪。ノホ。太極。

13年の努力も勿々報酬一御

初音や横川の様を云ふ

庚子仲冬之月
金

八章凡之以之夕那

多賀造嘗て御詔人

卷之三

汝子深得其傳也

所の裏手の小船の

生贊也。其一早
即余所見大津本

紙印金糸大行
市井八町耳の

卷之三

大律統の孝の子次を存
毒の如くお嘗ての御代玉消う

晴の伊豆の御所の御代

佐々木三郎運行の金二万

卷之三

八陽之子

御事多々承り御用事

細毛のやせた八百草の絨

新古今集

曉亭集序

仇人上首方是好處，這裏

仁人一念之微微不

一乘以神下之以濶水
掌火也。傳山東之物也。

電氣も併し其の他の用

田の後、之を

文書も和焉後人其見出田

九月雨大水至始作堤防

秋の年、ふらまう津

子仁王和多

通志

少那
多那
日歐
許六
鬼聖
景三
姬貞
高政
田室
立圃
市水
去肩

初雪や故の勇士乃弟と云ふ
いやなや一風土がまほほ景致の雪
幸崎の雪もよどちかあらうとく
麦わらや内野もやせたる雪の里
晴日もととく乳母とすねぐ角

龍昇李吟
重上香山

卷之三

四
卷之三

初雪や故の雨士乃奈をもふ
いやなや一高木林と時子日枝の雪
辛崎の雪をふどりあおあくまく
まぐれや内かわさうた夜の里
明日もこゆく氣ぬ、雪松の角
扇の寄やしゆく合意、初あくまき
故の後をすむ一此良乃雪
高砂も二度思ひ今や初雪
あるし、小雪半々立や後や雨
邊のやれの指乃車え
雪の峰々が多岐子山もそれ
此下ノノ城ノノ扇ノノ雪 佛
堂ノノ塔ノノ扇ノノ山や夕雲の
移すしきれ栗田やはるの秋

龍昇李吟
董立尚白
迫友支考
彤坡北枝
智月觀作
冕堂北校
支考

少佐乃坂和伊以子の事宣
連やあらわもきうそ
捨枝下りも直人一死國の事
石川五郎とおもてんか
女体もくまやくもくもくする
あれよどう法事ややくす事

其角北枝卓犖

美濃	アツシ	十八郡	アシハチ
厚見郡	アツミ	多賀郡	タガ
加茂郡	カモ	各務郡	カモ
可尔郡	カル	山縣郡	サンケン
大垣城	オカニ	古坂郡	コツカ
高須陣屋	コスジヤ	郡上郡	クニヒヨウ
岩村	イワムラ	郡上郡	クニヒヨウ
郡上	クニヒヨウ	郡上郡	クニヒヨウ
草木	グサキ	方縣郡	カタケン
谷汲	カタシギ	力納郡	カタナ
		本巣郡	モンス
		大野郡	オノ
		武陵郡	ムリョウ
		恵奈郡	エナ
		郡上郡	クニヒヨウ
		郡上郡	クニヒヨウ
		席田郡	セキダ
		不破郡	フボウ
		安八郡	アハチ

美濃

下
卷

知長ち。岐阜町造の全有都集。長良川船築て。清洲
死の事。又寺物を出で。御保川竹の鼻。古戦輪中。百公村森宮上。月吉の里
秋の松峰。今則五次。圓原。桔井。赤坂。杭瀬川
。六侵費の里。移居。船木山。傳多紅葉。中山とも

草玉の白い原
松をうねる水。山高の山あは。和射見の原
とまくえ。
席田。野尾の宿。伊津貫川。野毛。田跡川
東山。尾崎の宿。伊津貫川。野毛。田跡川
黒田川。開友川。友花舟宿。八一隠代。鷺の里
南國名産。あさひ。貞柳。折枝。山茶。温石。山梔子。芭
園。小刀。波音十郎。船橋屋。えのえ。鷺。牧童。
古今の名所の匂。李惺雅南國の都

旅人や泊り合ひ不破の日本因
目利子了之處以當月足引如行
今一や是才少違也教乞少
此より月を以ての事無し
吉原

見立野。三段。鷺庵。三段。須原。三段。小野の鶴。三段。

林 ざわ の名浦の種も。上 あが 木 き 五次。御橋 おはし 又橋も木曾の

又毛少傳も嘗て書。福鴻賞。鳥居経。大門の清水。手仲
吉野才人。あやめ。おひめ。おひめ。おひめ。おひめ。

原水。洗馬。天子。溫房。溫泉社。和田碑。化
身。洗馬。天子。溫房碑。溫泉社。和田碑。化

さがうやくそもぞも。大山の里。追加 大山の山名ふ又一。

。伊倉山。圓妙の山。高嶺の山。水の山。望む。伊
の。伊勢美濃。伊勢。

それより宿す所のわゝ野
ネラモ

路の橋。相切川。清方外。塙田川。海老川。七科の石井。

の湯。那須の湯。陽。七久里の湯。青木の壺。西四

蓋夏少憤亟賊捨瓦兒抑不曾乞掌公子弗空服

東洋
山川發
無事
矣今
種々
事之
望
古今
並列
一再
刀目

古今名所の如日本雅南國の都

やうに思ひ出でる事は此日
乙

卷之三

本種の體も赤色に帶びてゐる。

完うまきあらゆる一月の月

窓うきをやまに一月の日
射らやきのあそ居るよも里

。二橋。名水川。袖舞。宮。一里やく。板鼻。大。

光院 檜木の内
新田の本作。高僧

右。宮。一ノ字ト云。板鼻。

大歎

新町
新町
新町

國不名。林寺

謂承う有ぢ能うる體和の文
文福承うゆ故ゆあり是事と

ダラダラド 横木の内と称ぶ
善導寺 鎌倉在利根川

經卷之六

八事より多くは貴重。小峰
等の珍妙也。

出立水一升をより重ねて
糸を引ひたり村中へお風。すなはち
出立

慕名物追加

安蘇山音源考一

物の山

さの
横野

北山集

南國名產
得仲真
宋儒師

使君方自勞 退角歸之使 王子猶見
利復以報

古宇名所の向里寺は源雅南廻の部

卷之三

笠山
思ひ事へゆきりぬり白雲の如く
ちくちくとあらわすやうに思はる
ゆゑややけのほどの丸を含む
うづうづりや壁も七夕とての壁
葉あれ喜やうとうと利根の川通
上野や足利代より一拂
谷本這ふ温氣れどもやふ月も
いづれのやあ争ひの少拂ひも大切
換年や相生の町をもじりてゐ
ゆえ

下野下毛
古郡

九郡 遷利郡

深田郡

安積郡

都賀郡

芳賀郡

烏山城

宇都宮城

大田原城

黒羽城

主生城

りてき

陣。佐久山

日。足利

日。福原

日。黒松山

日。轟石山

うくまん

二荒山

日。三合の山

日。高尾山

日。山薺

日。山薺

由緒ゆき

神社

中御寺の湖

日。唯

松子長房

日。中御寺

日。神社

日。御

御の高苔名和

日。御

日。御

日。御

又温泉あり

日。御

日。御

日。御

御事有

日。御

日。御

日。御

御飯

日。御

日。御

日。御

御食

日。御

日。御

日。御

人をもやかしも年めとゆの去
東風うむせ役子北海市白川山
移り一やう指足都うかすりと
白川くもえをかね秋う風
う門あはれ多いふく花がる
あもろん高きとその跡うよ
すれ舟伏くまく風がく時がく
其そくや兵へもう度のあと
御城う一そくの少く白髪外
手を身に寅年の間志摩山
西風嘆ふあらう原を女う和
有明うほうう不采柳うう
陽う牛伏うえ人や鶴うみ
梅春

高野山のまへしゆもまくか初夏
細々金合はすと大布乃
軍事と名めし初より名の間に除
國元ノモリノヤ奥の田地ノシ
奈政ノ行目と移り四月一
日暮れ秋大和人をひきよる
故角力名手ノ足也ニ下り
角力ノ名手多岐ノ御二あゝ實
嫌手やあゝ傳る多岐はやうレ
七有も之手もひこす牛馬人
廿月ノ名手の手や入用さ
價あらわすと一ほり松乃月
山ノ下に停る山ノ下に松乃
山ノ下に松乃と生映る
西嶋

出羽

十二郡

最上郡

村山郡

置賜郡

雄勝郡

田代郡

出羽郡

平鹿郡

山本郡

飽海郡

河辺郡

由利郡

秋田郡

大河郡

山縣郡

城端郡

本澤郡

山城郡

新庄郡

庄内郡

大馆郡

庄原郡

秋田郡

朝。吉方や海の山々。テリ。テリ。
メテキヤハ坂もしやくの國の雨。

花縣

吉方。海や波がさづか。宍上川。
津下

湯。高らか。浦。山道。めぢ。川。
有良

あひき日代。あ。入。く。り。も。み。川。
多賀

も。ゆ。や。雨。西。経。う。河。の。ウ。サ。川。
多賀

若狭

三郡

三方郡

遠敷郡

大飯郡

小濱城

佐垣屋

陣

若狭

三郡

三方郡

遠敷郡

大飯郡

小濱城

佐垣屋

若狭

三方郡

遠敷郡

大飯郡

小濱城

佐垣屋

桂木。本郷

古國名産

足八

鶴賀宮川

花縣

越前

十二郡

坂井郡

他上郡

吉田郡

今立郡

足利郡

坂井郡

南條郡

丹生郡

大野郡

坂井郡

福井城

丸岡城

太野城

城

氣比の社

永平寺

曹洞宗

吉田郡

松葉

吉田郡

丹生托山

曹洞宗

吉田郡

夕立

丹生托山

湯尾峰

保砂山

吉田郡

南

鰐口

尾山

高尾山

吉田郡

丹生

鰐口

尾山

高尾山

吉田郡

鶴賀

丹生

鰐口

尾山

吉田郡

敦賀

丹生

鰐口

尾山

吉田郡

每浪

丹生

鰐口

尾山

吉田郡

二國

丹生

鰐口

尾山

吉田郡

北

丹生

鰐口

尾山

吉田郡

古角賀

丹生

鰐口

尾山

吉田郡

伊豆

卷之三

毛皮使役

何處郡
船井郡
多記郡
冰上郡

廣雅風義。名物古今韻

佐渡郡

卷之三

卷之三

大英博物館藏書

六

通鑑

此。光。月。二。日。在。谷。中。有。大。石。一。块。其。上。刻。有。古。文。其。文。不。可。辨。然。其。形。似。一。块。碑。也。

福智山城篠山

日。龜山。大。

東の社事端り、まき

カムミモ
猪飼の里

卷之三

名所の句

かづやと 須田昌 藤良 横左衛門
弓作 玉井吉栗 太布 朝臣

丹波源や綿衣元の事

卷之二

大島
筆を起す。鬼のうねり可らず
生々氣風中もさう山とくら
むれ峰木郭を波打ふ
鬼の体をうながす。雲煙
亦うなぎの音の如うたる
音

丹霞

五
郡

竹幼口加
那佐中
郡 郡

與謝郡

丹波郡田邊城

宮津。峰山陣。九世の文殊。

卷之三

又不名東ハ入御ノミニ絶
多忙う御音札不

。与謝の海うゑのうみ あさき 離の者 まちのをとおとへ 淡雅たんが 年和
淺あさ うつむけの空 松まつ いこだら 薩治さじ 箕家みや 沙母さぼ 町深浦ふかうら
内うち の候まことに 天あめ の橋はし ひそよし 守まつ てく 傷きず 攻こう す有あ 替かわ きよよし てく あらわす
切きり 渡わた 文ぶん 佳よ

水の浦。常侍浦。漢波浦。倉橋山
東部の村。南國名産。鄭丹修
古今名所の向學寺。温泉雅莉園の御
塔。大鳥居。御門。御門。御門。御門。
要文

因幡

七郡

巨鹿郡
邑美郡

法美郡
葛草郡

八上郡
氣多郡

智頭郡

飯島城

飯野城

新田陣

因幡山

美濃山

一休亭

三角山

名和ノ名和

久木郡

八橋郡

汎人郡

伯耆

六郡

河内郡
會見郡

日野郡

八橋郡

汎人郡

大山城

大山城

御舟の上名和

聚

聚

出雲

十郡

吉井郡
鶴嶺郡

能義郡
出雲郡

鷦鷯郡
根那郡

鷦鷯郡

仁多郡

松門城

者賀陣

母里

廣瀬

佐野の社

大社

大社

大社

大社

大社

九郎管

伊勢

伊勢

伊勢

伊勢

伊勢

伊勢

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

駿河

駿河

駿河

駿河

駿河

駿河

相模

相模

相模

相模

相模

相模

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

因幡

因幡

因幡

因幡

因幡

古今名所の匂四季漫遊南國の部

ねあめや一そくうちわまくら
神風のいづこすみれ入下う 仙乃
集 一神も貞めやハ百葉 貞仙

石見

古郡

安濃郡

邇摩郡

那賀郡

濱田城

食延郡

美濃郡

邑智郡

山

津和野。渡野山。お歓の山。高角山

修業の里。うなぎの里。石見深重。可食の浦。津和

三重の河原。桂子山。浮浜の池

南國名物

基

浪湯

隱岐

吉

知夫郡

海鄰郡

火火椎根

山上

周吉郡

隱地郡

通年観

山

中島郡。南枝と北枝と冬枝。房鏡の小嶋

松山

千葉松

山

鞆ヶ嵩。松山。之鷗。箕屋の浦。南云名産

納麻

桐板

山

播磨

十二郡

明石郡

賀古郡

二李郡

赤穂郡

丹波郡

完羅郡。神崎郡。姫路城。龜野。赤穂城。明石。山崎

加古郡

安志。小野。福井。林田。鶴の窟。瓦室。御前

屋。

大神。毛利。佐々木。伏見。兵庫。淡路。但馬。

淡田。若狭。琴浦。伊豆。久遠。氣比。高麗。

伊豆。高麗。相模。武藏。信濃。甲斐。駿河。

三河。尾張。近江。滋賀。丹波。和泉。紀伊。

曾根の松春。曾根の社着林。書厚山。手教寺。夢丁子
女人也。秋青。

札西ノ南古松光利 满高山 近は倅口名
高木里充美子 满高山 やく塚仲。船波山。萬波比山浦
善廣義博。秋原義定 ての まこと いとよし
善廣義博。秋原義定 ての まこと いとよし

月夜雪とす若日隆時 墓碑文
高山の社

臺灣府城北門外有神社曰明神社。入口望之有屋宇

高木の子を越と。福泊と改め。室井印南野。中野。中村。高木。尾形。高木。

あきらめず。眞子の頃、志の高き者。心に浦原
川浦向うまで。

もあ月の出でゆく。月の浦。すこすく。家鴻。響。酒

三草川 桜衣。津田の細江。星千吉。荒木。喜多川。鶴之里。

かうがく和の音楽とを争ひ合ふ
俗はうんとお掲げ又興味有す 附在前 深門博士御名月

浦の笠巻と合通聲。妻小村爾吉多喜子帝子娘也。清風鳴琴人丸社。妻小村多喜子帝子娘也。梅雨の下多喜子

尚圓名產
毛絲絨
明在增
赤蠶蠻
唐田之種
多少端
嘉定之竹
刀筆
力在篇
見之而忘

古今名跡の匂四才の混雜ある之

人九社

伊勢守はむかへるに寄れ室と

酒アのうりやんを多分と云ひ
入船もたゞまくやさう空の水

1

三

夷長

しりやひやひなせ。朝の花をまつる。あま堂
六月や。朝の花をまつる。あま堂

はうり朝の花をまつる。あま堂

朝の花をまつる。あま堂

備

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

園山城

上道郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

神村山

唐琴北浦

牛窓

水野と原

大鳴瀬

唐刀の瀬戸

猿戸の渡

伊那

幡野川と玉森

佐久の瀬戸

佐久の瀬戸

天神

大河

お側

お側

美作

七郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

峰山城

勝山城

余井更山

山川有

安女の橋

因生

延生

東田尻

延生

延生

備本

八郡

和氣郡

磐梨郡

邑久郡

赤坂郡

御野郡

津高郡

小鳴郡

大鳴郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

大鳴郡

英田郡

勝田郡

若西郡

若東郡

大鳴郡

久米郡

大庭郡

真鳴郡

大鳴郡

多々の事。行さん浦の田植 体文考

備中

九郡

都守郡 崔屋郡 賀夜郡 下道郡
英賀郡 松山城。卑鳴陣。庭懶。芦守。中村。弓法

古備津。宮。今夏。今夏。今夏。今夏。今夏。
吉備の山。鳥場。萬代。零。
曾根。細谷川。岩屋山。社。猶後山。祀見山。高櫟。
岩山田。細谷川。岩屋山。社。猶後山。祀見山。高櫟。
白金山。鷺間の浦。官。二萬石。謂。宣。名。故。有。暗。
豊多の里。雄多の里。野山。里。竹の里。倉石。里。

正本山

萬國名物

小葉紙。墨。白。毛。

神社

楠木紙

備後

十四郡

安那郡

源澤郡

源澤郡

神石郡

磐郡

三上郡

惠櫻郡

沼隈郡

沼隈郡

葦田郡

磐郡

世羅郡

室野郡

御調郡

御調郡

福山城

三次郡

委代郡

尾道

穴山南面

今松井。柳。枝。女。有。又。東。の

政。の。む。は。赤。海。

尾道。女。有。危。舟。の。泊。名。物。萬。竹。

毛。葉。紙。一。浦。さ。ち。や。お。め。立。佐。多。

新。角。角。一。浦。さ。ち。や。お。め。立。佐。多。

種。下。

松風やかなうつても此唐

卷之二

安
藝

八郡

山沼郡

高宮郡

沙田郡
安養郡

支
之
扶
祐

廣鳴城。坐敵鳥

官鴻

李在

人安置平

舊約全書
大衛の詩

卷之三

出合の清水。小萬の里 南山名産

鷹鳴春淮火沖花飛長
年易之猶如丁巳 水日朋

西澤柳
古伊林市上易義の子

古今ノ名所ノ句四季温雜山川の部

萬風やうりやううつ移の巣鳴子村
うちや波都打ひつゝ一海再訪
市ノ内ニシテ一説うそ居る之
移も無不近一ノタニヤ呼號
ノシテ一御置カヌカヌの帝垂云

周防六郡

大島郡

佐渡毛

郡
吉
波
郡

同郡。宋

陳城

福山。德山。陣。般。國。山。大。之。祝。鳴。鷗。行。鳴。鶴。之。

下巻

改作題相。御袋橋。是之。室精。

綿岱橋（そんたいばし）。室精

の昌列士は、彼のまゝへて御ひをうそ、法事院に入りてお女
の御音質をかへて娘を自取り、げんむすびをうなぐと、

三九
二十九の地。竈

上の闇

南國名物

卷半

紙岩園

卷之三

卷之三

長門六郡

新安郡

トヨラ
豊浦郡

卷之二

卷之三

城長府

赤岡より圓トモヒ舟の
立とを安ウ。安威の公

卷之三

徳川の御代官の所領。阿波の浦
は、徳島の西に位置する。徳島の西
に位置する。徳島の西に位置する。
徳島の西に位置する。

卷之三

南國名物

明石
多能
基石

古今名所の向四季は優雅な画の部

卷之四

山由

紀伊吉本士郎

卷之三

那賀郡
名草郡
牟婁郡

海邊郡

海
通
志

和哥山城。田邊城。新宮城。熊野城。伊勢松阪城。

えどすちのゆきもとく
さかう。日暮現の社本宮。温泉。粟鳴の社が東詫ひを

十萬石土方十五丈。波田村えどく浦を走りて至る大建橋^{タカハシ}。

門囂布花松浦鳴秋

き
泉の高野の山も此處へ來
るやうな事

此處す苔の洞入定の靈跡也。御前御子也。又此のあらんとよ
柳橋。爰よりからて御のねあらとするの室。岩谷。谷せりもほの灯
はれゆき。うする。此邊の洋。毎年一度。大師の御下す。すまわ。長老の
萬燈貢の一端。御うち坐す。ゆき太師の母。おひづる。破りく。かくの御ん
く。火のゆきく。若きう。太師をあらむ。殺戒多く。倒りゆき。と
はらく。ゆき。火のゆき。殺戒をもく。ひき。く。とけ。く。ゆき。ゆき。
此の事す。御廟の橋。蛇柳。女人堂。女人翁。雪舟。玉川。

士郎

城
新官

象。雲鳴の社がよ

大建極

千代の名を傳へし木戸の事は、僕人の事である。
あつまつても、主に、
山陽土蜘蛛の神。又、
山陽の雨。又弱の浦森。

王氏子孫多有才學，以是爲榮。王氏子孫多有才學，以是爲榮。

墨書き　かくは月の山次約舟。行寄納生あり給ト御一
きらむ

記者
札所 松川寺上

那晉山

三

舟を舟友舟。切目山。侍乳山。博多。女良丸。元代の博坂
船。磁圓の浦。取見の浦。佛手亭。野見。名高の浦。阿
胡神の浦。吹上。浮遊。移乗。舟人。波
千里の渡。音之川。逆川。宕田の岬。下野の里。
白鳥の園。
南國名産
虫子酒。白毫。白う。塩鰈。銀石炭。
根豆。枕ね。春卷。アラカツ。日向。秋刀。秋刀。秋刀。
白砂。白砂。白砂。白砂。白砂。白砂。
東う。名所の白四季。偏雅。南北。郊。

伊豫
十四郡
温泉郡
伊豫郡
久志郡
喜多郡
松山城
板島
大内
田子
吉田冲
新谷
小富
士佐
安前
美野
仲山
集原
佐佐
山之瀬
社
篠原
石城
須賀
多賀
鳴動
勢橋
伊豫の領地を有する
有りて主
今
西國勢
伊豫の領地を有する
有りて主
今

あわせ
うそり

○土优

去忧
七郡

安流郡
安流郡
奇美郡
高屏郡
福安郡
長圍郡
云佐郡

高知城。むこうの山。矢筈山。白鬚山。本尾坂

て生うるゝうちも、まことに
かねて、人間の運命の主は、ほんの空からて我をあらわ

小村の天城の酒室の内省の在波風をもて御大師

大崎。物部川。硯石。脣三田。次子。十村。般傳。大輔。若村。種

子也。子也。子也。子也。子也。子也。子也。子也。子也。子也。

。名前屋の事は、おもむろにあつた。萬代の和田信。東城の

又言馬作駒者也

卷之三

南
山
名
物

舊約全書

江口信重也才子也仕於山
中也亦有才名也高宗紙
中也

疏前

江
上
郡

志摩郡 槽屋郡 下野郡 良原郡 宋像郡 鳥羽郡 周防城

那河郡
鞍车郡

卷之三

卷一百一十一

龜山

卷之三

卷之三

卷之三

又常向其城而坐之。自是四

筑前

豊後

山。四極山。印花。煙。北緯の里。高舟。柳の浦。三位清流。
企敵の濱。葉松。倉多の濱。間の濱。苦文。字。水。

開。左列後山の御手を取れ。御手を取れ。御手を取れ。御手を取れ。

南國名物

小倉城。久留
里在山著。

宇佐

尾伏。山も。身も。情も。放せ。身も。放せ。身も。放せ。身も。放せ。

梅翁

梅翁

豊後

八郡

高郡

海郡

道入郡

大郡

國嶺郡

速見郡

大郡

大郡

作田城。白杵城。佐伯城。府四城。日出城。杵築城。東陣。
姫鳴。佳奈。室津。佐賀の國。黒井濱。白濱。毛豆基。

肥前

十一郡

基肆郡

養父郡

二根郡

神崎郡

神崎郡

藤津郡

彼喜郡

佐嘉郡

小城郡

蒲原郡

杵鳴郡

杵鳴郡

高田郡

名古郡

日向郡

唐津城

佐賀郡

島原郡

平野郡

日向郡

大村城

小城郡

大賀郡

蓮池陣

長崎郡

長崎郡

日向郡

日向 大隅

日向

九郡

田村郡

兜湯郡

那珂郡

延岡城

饭肥城

高部城

佐去原城

七山陣

舟尾門

山鹿門

吉野山

高千保の窩

嫗ヶ獄羽神

宮崎の唐膚首

佐去原の峰

南牧の坂

高鴻山

遠見の峰

兩の表

神路の沖

南牧の坂

日向の坂

大隅

八郡

菱刈郡

筑前郡

增於郡

大隅郡

後瀬山

後瀬山

肝属郡

取詰郡

篠郡

日置郡

。櫛

。布の松

。大曾の木

。櫛

。鳴

。櫛

。櫛

。布の松

。大曾の木

。櫛

。鳴

。櫛

。櫛

。布

。大曾の木

。櫛

。鳴

。櫛

。櫛

。櫛

。布

。大曾の木

。櫛

。鳴

。櫛

。櫛

名物。櫛。布。唐稀。芭蕉。布。上布。下布。朱。り。あ。お。瓶。
泡。り。や。う。く。く。人。灰。砂。や。く。水。泡。り。や。う。く。く。人。灰。砂。や。く。水。泡。

古今名古の句。四季。温。雜。南。國。の。都。

靈波

壹岐郡

魚釣山。海。松原。

二郡

野原。高弓。猪牛。四見。風見。赤坂。南安里。南安里。名物。鹽舟。

壹岐郡

魚釣山。海。松原。

名物。鹽舟。

射馬

二郡

上縣。下縣。

郡。府中城。有明山。

名物。鹽舟。

山。紅葉の山。高浦。浦

名物。青破石。

入。受。3。

枝垂れ。内。鹽太。山。盡。取。一。村。水。山。一。竹。竹。山。一。增。傳。山。真。穴。希。

俳諺所名集卷下

